

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL  
 ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB  
 CHARTERED IN 2004



THE Y'S MENS CLUB OF ATSUGI  
 4-16-19 NAKACHO ATSUGI  
 KANAGAWA JAPAN 〒243-0018  
 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2016年4月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第139号

堀田クラブ会長 若者とともに楽しく活動しよう  
 主 湘南・沖縄部部长 一人ひとりが愛と平和の種をまこう  
 東日本区理事 原点に立って未来へステップ  
 題 アジア地域会長 愛を持って奉仕  
 国際会長 信念のあるミッション

今月の聖句(強調月間:BF,メネット)

わが子を愛する者は、しばしば鞭で懲らしめる。そうすれば晩年、子供は彼の喜びとなる。  
 お前の子供をしつけ、子供のために苦勞せよ。さもないとその子は非行に走り、お前を困らせる。

シラ書 30章1節と13節

2月例会報告 2月24日

2月は公開例会とし、スタートは点鐘、ワイズソング斉唱、ワイズの信条の唱和、そして厚木クラブ例会の華「バツ地理ニュース」をご多忙の澤内ワイズに特別にお願いし、メインの平井厚木市前教育長の講話に先立って、石井副会長から先生のご活躍とお人柄についてご紹介があり、先生のお話には。



「毎日といっても過言でないほど、新聞は子供の悲しい事件を次から次にと記載しております。教育長として私は校長会議の際には、いつも子供が不幸に会わぬようにと重々話してきましたが、それでも昨年子供が交通事故で死亡する事故がおきました。親御さんのことを思うと胸が痛みます。

少しでもこのような悲しい事故を減らすべく子供たちにヘルメットを着用するよう働きかけて現

在籍会員 21人

例会データ	3月	在籍会員	21人
会員	11人	メイキャッツプ済み	
ビジター	1人	出席率	
ゲスト	人		
合計	12人		62%

在市内の学校でヘルメット着用率は90%から30%までだいぶ差がありますが、着用が普及してきております。

厚木市はセーフコミュニティ認証が全国で3番めの市であり、人命の尊重を高く掲げている街でありながら、14年5月市内アパートで白骨化した子供の死体が発見されました。事故の起きたのは数年前のことであり認証前の出来事ではありますが、私は強く責任を感じた次第であります。

と申しますのは、子供の就学時には、親に就学校の説明会に来ていただくことになっておるのですが、この被害児の親は欠席だった。この時点で異変に気づかず、子供が生存しているか否かを見逃してしまったことが非常に残念であり、先生方の認識がまだまだ低いことに痛烈に責任を感じました。

子供の育成には、バランスが大切で、家庭、学校、地域社会の三者の連携が欠かせない。いじめ問題は学校内、家庭、地域社会でおこる。

子供の登下校時、道路に飛び出し事故が発生する。学校は生徒をちゃんと指導していたかと新聞は学校の責任を問う。夜遅くなって子供が外出し行方不明、

例会のご案内	会長	堀田 哲郎
原則として第4水曜日18時	副会長	石井 芳隆
半から2時間	副会長	川口 知幸
お問い合わせ先	書記	小林 秀
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	書記	千葉 裕子
	会計	岩淵 正弘

に3なる、親が放任し、面倒をあまり見ない結果であっても、新聞に親の責任を追及する論調はあまりみられない。学校の生徒指導のなさを鋭く追及する。

親は子供の成績が下がったことまで学校側に抗議してくる。流感で登校停止になると、登校停止中の給食費を戻せと要求してくる親がいる。このように問題は山のようにある。

教育長としてやり残したことが二つばかりある。

1、先生方は子供への責任を重く背負わされ、一方学校法による年間計画にがんじがらめになっている。

優秀な教員の採用が必要であり、大学教育学部とのつながりがぜひとも必要である。

2、家庭の経済格差で子供の学力に差が生まれているようだ。平成26年度「子供貧困対策」が制定された。6人に一人の子が貧困という。親が子供に万引きさせる例まである。

終わりに、日本国民には教育、勤労、納税の三大義務がある。親はわが子に学習を受けさせる義務がある。子供はやがてこの三大義務を果たす責任を負わされることになる。先生方はあまり意識されていないようだが、税金を払う力量のある子を育てることが教育のある意味での役割だと思う。(小林 秀)

## 日本語スピーチコンテスト(3月10日)

### 「日本人の結婚の現状について」オアンさん

私は留学生です。今日本に住んでいます。高校を卒業したあと、すぐ日本へ来ました。日本へ来る前に日本の文化をぜんぜんしなかったもので、日本はいい国だと思っていました。するともうひとつ知りたいのは日本の結婚の現状です。

日本で結婚しない人は増えています。子供があまりいなくて、お年寄りがたくさんいて、増えるっぽうです。今ベトナムの結婚の現状は17歳から結婚するひとがたくさんいるのですが、日本人は結婚したくない人が多いと思います。結婚する前に男性にとって一番大切な物はお金です。もしお金がなかったら、結婚すること出来ません。結婚式をするのが〇〇(二字判読できず)しいから、結婚しない人が増えるっぽうです。その一方で、今の男性はいつも仕事をやるだけで、ときには一日は10時間から15時間働きます。働く時間の後は食べると寝るだけです。仕事にあっぱくされるから、デートをしないの

でしょうか、毎日働くところで(には)日本人が多いですが、男性は30歳以上でもまだ結婚していない人がいっぱいいます。

この間日本人の男性とはなしました。そのとき私はその男性に聞きました。

「毎日仕事をするんですか」「うん、そうです。」

「そうか、今何歳ですか」「38歳です」

「結婚した」「ううん、まだです」

「えっ結婚したくないのですか」「結婚したいけど、お金ないから、出来ない」(笑う)

そのとき、どうしてかなあと思いました。

今日本の現状は子供がすくなくて、お年寄りがたくさんいますが、看護する人はあまりいません。もし結婚したくない人が増えたら人口がへると思います。

今日本人は働いたり、勉強したりする時間のあとはデートをしてくださいと思います。25歳になったらみんなはやく結婚した方がいいと思います。

(YHCA努力賞受賞 ベトナム出身)

(厚木クラブ賞受賞スピーチは次号に記載予定)

## 厚木YMCAへの感謝のお礼

第18回東日本区大会準備の打合せに五十余回教室をお借りし、さらに大会時にはスタッフ、生徒さん延べ40人を超える方々に、ご協力いただき、お陰様で参加の皆様大変喜んでいただくことができました。3月25日、厚木YMCAご希望のラウンジの美化用品と光学機器2箇所を石井大会実行委員長から感謝のしるしとして小林館長に贈呈しました。

## 会員の活動状況

○3月9日日本語コンテスト 佐藤さん出席

○3月12日卒業リーダー感謝会佐藤さん出席

○3月15日睦会ホーム慰問 堀田、小松、徳沢、

川口、石井、佐藤さんの仲間2人計8人参加

○3月5~6日次期会長研修 川口さん

## 4月行事予定

☆厚木クラブ4月例会 4月27日18時半~

卓話 題名「小田急ロマンスカー」

全駅+沿線通過ビデオ制作裏話」

講師 関口倫正さん(厚木ご在住)

なお4月1日横浜YMCA人事異動で赴任される奥園新館長、新担当主事をご紹介の予定。